

各府省庁におけるローマ字使用の例

地名等の英語表記規定（国土交通省国土地理院）(抜粋)

地名等の英語表記規程

平成28年 3月29日 国地達第10号

(目的)

第1条 この規程は、国土地理院が作成する地図及び地名集に記載する地名及び施設名の英語表記基準として、標準的な表記方法を定めることを目的とする。

(ローマ字表記)

第2条 ローマ字表記の方法は別紙1のヘボン式によるものとする。

(英語表記の方式)

第3条 地名等の英語表記は、追加方式又は置換方式のいずれかによることを標準とする。地名等の英語表記例は別紙2のとおりとする。

2 追加方式は、表音のローマ字表記に地形や種別を表す英語を追加する。

3 置換方式は、表音のローマ字表記のうち、地形や種別を表す部分に対応する英語に置き換える。

(英語表記基準の対象)

【以下省略】

表音のローマ字による表記方法

下表（地名集日本に記載）に従ってローマ字に変換する。

あ	い	う	え	お			
a	i	u	e	o			
か	き	く	け	こ	きや	きゆ	きよ
ka	ki	ku	ke	ko	kya	kyu	kyo
さ	し	す	せ	そ	しゃ	しゆ	しよ
sa	shi	su	se	so	sha	shu	sho
た	ち	つ	て	と	ちゃ	ちゆ	ちよ
ta	chi	tsu	te	to	cha	chu	cho
な	に	ぬ	ね	の	にや	にゆ	によ
na	ni	nu	ne	no	nya	nyu	nyo
は	ひ	ふ	へ	ほ	ひや	ひゆ	ひよ
ha	hi	fu	he	ho	hya	hyu	hyo
ま	み	む	め	も	みや	みゆ	みよ
ma	mi	mu	me	mo	mya	myu	myo
や		ゆ		よ			
ya		yu		yo			
ら	り	る	れ	ろ	りや	りゆ	りよ
ra	ri	ru	re	ro	rya	ryu	ryo
わ				を			
wa				o			
ん	っ						
n	(注-2)(3)参照						
が	ぎ	ぐ	げ	ご	ぎや	ぎゆ	ぎよ
ga	gi	gu	ge	go	gya	gyu	gyo
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	じゃ	じゆ	じよ
za	ji	zu	ze	zo	ja	ju	jo
だ	ぢ	づ	で	ど	ぢや	ぢゆ	ぢよ
da	(ji)	(zu)	de	do	(ja)	(ju)	(jo)
ば	び	ぶ	べ	ぼ	びや	びゆ	びよ
ba	bi	bu	be	bo	bya	byu	byo
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	ぴや	ぴゆ	ぴよ
pa	pi	pu	pe	po	pya	pyu	pyo

(注-1)

1行目・・・平仮名

2行目・・・内閣告示の中の第二表のうち、へボン式に相当するローマ字

() は重出を表す。

(注-2)

上記表のほかは、おおむね次の各項による。(一部内閣告示と異なる)

(1) はねる音「ん」は、全て n と書く。

(2) はねる音をあらわす n と、次に来る母音字または y を切り離す必要がある場合には、n の次にハイフンを入れる。

(3) つまる音は、次の音節の最初の子音字を重ねて表す。ただし、次に ch 音がくる場合には c を重ねず t を用いる。

(4) 長音を表す記号は省略する。

備考1 注-2(2)、(3)の例

観音寺(かんおんじ)市 Kan-onji City

倶知安（くっちゃん）町 Kutchan Town
乙知志（おっちし）岬 Cape Otchishi

備考2 注-2（4） 長音を表す記号の省略について

長音を表す記号は、省略することを原則とする。

ただし、50音の「い」段の長音は、「i」を重ねて表し、「えい」は「ei」と書く。

また、表音のローマ字表記が「ou」「oo」「uu」となるときに、対応する元の漢字が一文字の場合にはそれぞれ「o」「o」「u」に短縮するが、二文字に分かれる場合には短縮しない。ただし、短縮する表記が通用している場合には、短縮してもよい。

例：王滝（おうたき）川 Otaki River
瀬戸内（せとうち）市 Setouchi City
大野（おおの）町 Ono Town
桑折（こおり）町 Koori Town
善通寺（ぜんつうじ）市 Zentsuji City
勝浦（かつうら）町 Katsuura Town
例外の例：青梅（おうめ）市 Ome City

「ー」（長音符）は省略する。

例）ガロー川→Garō、クレーベツ川→Kubetsu、メンナー山→Menna

備考3 特殊音の表し方について

地名集日本の表には定めがない。以下を標準とする。

キエ→kye、シエ→she、チエ→che、ニエ→nye、ヒエ→hye、ミエ→mye、リエ→rye、イエ→ye、ギエ→gye、

ジェ→je、ビエ→bye、ピエ→pye、テイ→ti、トゥ→tu、

ダイ→di、ドウ→du、デュ→dyu、ツア→tsa、ツイ→tsi、ツエ→tse、ツオ→tso、

ファ→fa、フィ→fi、フェ→fe、フォ→fo、フヤ→fya、フユ→fyu、フヨ→fyo、ヴァ→va、ヴィ→vi、ヴ→vu、ヴェ→ve、ヴォ→vo、ウィ→wi、ウェ→we、ウォ→wo

へボン式ローマ字綴方表 (外務省)

へボン式ローマ字綴方表

ア	A	イ	I	ウ	U	エ	E	オ	O
カ	KA	キ	KI	ク	KU	ケ	KE	コ	KO
サ	SA	シ	SHI	ス	SU	セ	SE	ソ	SO
タ	TA	チ	CHI	ツ	TSU	テ	TE	ト	TO
ナ	NA	ニ	NI	ヌ	NU	ネ	NE	ノ	NO
ハ	HA	ヒ	HI	フ	FU	ヘ	HE	ホ	HO
マ	MA	ミ	MI	ム	MU	メ	ME	モ	MO
ヤ	YA			ユ	YU			ヨ	YO
ラ	RA	リ	RI	ル	RU	レ	RE	ロ	RO
ワ	WA	ヰ	I			ヱ	E	ヲ	O
ン	N(M)								
ガ	GA	ギ	GI	グ	GU	ゲ	GE	ゴ	GO
ザ	ZA	ジ	JI	ズ	ZU	ゼ	ZE	ゾ	ZO
ダ	DA	ヂ	JI	ヅ	ZU	デ	DE	ド	DO
バ	BA	ビ	BI	ブ	BU	ベ	BE	ボ	BO
パ	PA	ピ	PI	プ	PU	ペ	PE	ポ	PO
キャ	KYA			キュ	KYU			キョ	KYO
シャ	SHA			シュ	SHU			ショ	SHO
チャ	CHA			チュ	CHU			チョ	CHO
ニャ	NYA			ニュ	NYU			ニョ	NYO
ヒャ	HYA			ヒュ	HYU			ヒョ	HYO
ミャ	MYA			ミュ	MYU			ミョ	MYO
リャ	RYA			リュ	RYU			リョ	RYO
ギャ	GYA			ギュ	GYU			ギョ	GYO
ジャ	JA			ジュ	JU			ジョ	JO
ビャ	BYA			ビュ	BYU			ビョ	BYO
ピャ	PYA			ピュ	PYU			ピョ	PYO

※参考

シェ	SHIE	チェ	CHIE	テイ	TEI	ニイ	NII	ニエ	NIE
ファ	FUA	フィ	FUI	フェ	FUE	フォ	FUO	ジェ	JIE
ディ	DEI	デュ	DEYU	ウィ	UI	ウエ	UE	ウオ	UO
ヴァ	BA	ヴィ	BI	ヴ	BU	ヴェ	BE	ヴォ	BO
ヴァ	BUA	ヴィ	BUI			ヴェ	BUE	ヴォ	BUO

※注意 「ヴァ:VA」「ヴィ:VI」「ヴ:VU」「ヴェ:VE」「ヴォ:VO」は使用不可

【ヘボン式ローマ字表記へ変換する際の注意事項】

1. 撥音：B、M、Pの前の「ん」は、NではなくMで表記します。
例：難波（ナンバ）NAMBA、本間（ホンマ）HOMMA、三瓶（サンペイ）SAMPEI
2. 促音：子音を重ねて表記します。
例：服部（ハットリ）HATTORI、吉川（キッカワ）KIKKAWA
ただし、チ（CHI）、チャ（CHA）、チュ（CHU）、チョ（CHO）音の前には「T」を表記します。
例：発地（ホッチ）HOTCHI、八丁（ハッチョウ）HATCHO
3. 長音：OやUは記入しません。
※長音表記を希望する場合には、下記【ヘボン式によらないローマ字氏名表記】を参照してください。
「ー」を省略する場合
例：ニーナ（ニーナ）NINA、シーナ（シーナ）SHINA、サリー（サリー）SARI
「イ」を省略しない場合
例：新菜（ニイナ）NIINA、しいな（シイナ）SHIINA、さりい（サリイ）SARII
「ウ」を含む長音「ウウ」の場合（「UU」は表記しません。）
例：日向（ヒユウガ）HYUGA、裕貴（ユウキ）YUKI、優子（ユウコ）YUKO
「オ」を含む長音「オウ」の場合（「OU」は表記しません。）
例：幸太（コウタ）KOTA、洋子（ヨウコ）YOKO、亮子（リョウコ）RYOKO
「オ」を含む長音「オオ」の場合（「OO」は表記しません。）
例：大野（オオノ）ONO、大河内（オオコウチ）OKOCHI、大西（オオニシ）ONISHI
末尾が「オオ」音で、ヨミカタが「オ」の場合（「OO」と表記します。）
例：妹尾（セノオ）SENOO、高藤（タカトオ）TAKATOO、横尾（ヨコオ）YOKOO
末尾が「オウ」音で、ヨミカタが「ウ」の場合（「OU」とは表記しません。）
例：伊藤（イトウ）ITO、高藤（タカトウ）TAKATO、御園生（ミソノウ）MISONO
4. 「ヴ」のつく氏名例
例：ヴィヴィアン（ヴィヴィアン）BUIBUIAN 又はBIBIAN、
ヴォードレル（ヴォードレル）BUODORERU 又はBODORERU

【ヘボン式によらないローマ字氏名表記】

1. 国際結婚や両親のいずれかが外国人、又は二重国籍等により、外国式の名前をヘボン式ローマ字以外の表記で記載することを希望する場合には、その綴りが実際に使用されていることを示す書類（出生証明書、婚姻証明書、配偶者や父母の外国旅券等）の提出をお願いしています。
2. 上記以外でヘボン式によらないローマ字表記（長音「OH」表記等）を希望するには、予めご相談ください。
例：伊藤（イトウ）ITOH、大野（オオノ）OHNO
3. パスポートを一度取得された後の表記の変更については、原則変更できません。

【別名併記】

外国で旧姓での活動実績があり、旧姓表記でないと支障が生じる場合など、渡航にあたり旧姓などの別名も併記する必要がある場合、その必要性が確認できる書類等の提出をお願いしていますので、予め申請窓口にご相談ください。